

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

野菜		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教716		

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【農業の目標】

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【野菜の目標】

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 【野菜の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) 「野菜」とプロジェクト学習 ア 野菜生産と経営に関するプロジェクト学習の意義 イ プロジェクト学習の進め方 (2) 野菜生産の役割と動向 ア 野菜生産の役割 イ 生活と野菜の利用 ウ 野菜の流通と需給の動向 (3) 野菜の特性と栽培技術 ア 野菜の種類と特徴 イ 野菜の生育と生理 ウ 栽培環境と生育の調節 エ 品種改良と繁殖 (4) 野菜の栽培と管理・評価 ア 品種の特性と選び方 イ 作型と栽培計画 ウ 栽培管理 エ 商品化と生産物の管理・評価 オ 機械・施設の利用 (5) 野菜の生産と経営 ア 生産目標と経営計画 イ 生産工程の管理 ウ 流通と販売 エ 地域環境に配慮した野菜生産	(1) 野菜の生産から消費、経営までの仕組みと野菜の利用形態を理解できるよう留意して指導すること。また、プロジェクト学習では観察や実験・実習を通して、科学的かつ創造的に学習を進め、野菜生産に関する実践力が身に付くようにすること。なお、地域農業の実態や学科の特色等に応じて、適切な題材を選定すること。 (2) 「野菜」とプロジェクト学習については、科目学習の導入として扱うこと。また、野菜生産と経営の実践については、「野菜」とプロジェクト学習を踏まえ、野菜生産の役割と動向から野菜の生産と経営までと並行して、又はそれらを学習した後扱うこと。 (3) 「野菜」とプロジェクト学習については、農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。 (4) 野菜生産の役割と動向については、野菜の生産及び需給の動向について基礎的な内容を扱うこと。 (5) 野菜の特性と栽培技術については、生育過程、生理作用、栽培環境と生育の調節や環境に配慮した野菜栽培の技術について基礎的な仕組みを扱うこと。

(6) 野菜生産と経営の実践	<p>(6) 野菜の栽培と管理・評価については、品種の選定、栽培計画の立案、生育段階に応じた栽培管理、商品化と生産物の管理・評価などについて体系的に扱うこと。</p> <p>(7) 野菜の生産と経営については、生産目標の設定と経営計画の立案、農業生産工程管理、販売方法の工夫、生産費や流通手段などについて基礎的な内容を扱うこと。</p> <p>(8) 野菜生産と経営の実践については、野菜経営に関する実践的な活動を行うこと。なお、起業や六次産業化に関わる内容についても扱うこと。</p>
----------------	---

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠(目標等との関連)
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)	学習指導要領第3章第1節第3款1(1)
b	農業や農業関連産業と関連付けている内容	学習指導要領第3章第1節第2款第6 2
	その他の項目(各教科共通)	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

##### イ 調査項目の具体的な内容

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 単元など内容や時間のまとまりを見通して、農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける場面について見取る。
- b 農業や農業関連産業と関連付けている内容
- ・ 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人について設定している場面を見取る。
- 《その他の項目》(各教科共通)
- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
  - ・ 人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫
  - ・ 安全・防災や自然災害の扱い
  - ・ オリンピック、パラリンピックに関する特徴や工夫
  - ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

###### ② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」が言及されているので、野菜では、安定的な食料生産と環境保全及び資源活用の視点で捉え、持続可能で創造的な農業や地域振興と関連付けるなどの実践的・体験的な学習活動がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 農業や農業関連産業と関連付けている内容
- ・ 学習指導要領の中に、「地域や産業界、農業関連機関等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努める」とされている。このことから、農業や農業関連産業と関連付けている内容はどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

#### 《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

#### (2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	農業
科目名	野菜

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	農業716◆
教科書名	野菜
(1) 内容	
a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」	
(1) 「野菜」とプロジェクト学習	・「野菜とプロジェクト学習」の単元において、「調べてみよう」など調査・発表する活動を取り入れることで、他校のプロジェクトの取組を共有するなど、題材の理解が深まるよう工夫されている。
(2) 野菜生産の役割と動向	・「野菜の生産と供給」の単元において、生徒が調査等を行うことができるよう各種根拠資料を示すことで、野菜栽培と生産動向について、理解が深まるよう工夫されている。
(3) 野菜の特性と栽培技術	・「野菜の栽培環境と生育調節」等の単元において、「調べてみよう」など調査・発表する活動を取り入れることで、温湿度の管理や栽培の評価の基準について理解が深まるよう工夫されている。
(4) 野菜の栽培と管理・評価	・「果実を利用する野菜の栽培」の単元において、各野菜の「実験」「実践課題」など研究・発表する活動を取り入れることで、野菜の栽培と管理・評価について理解が深まるよう工夫されている。
(5) 野菜の生産と経営	・「葉や花茎を利用する野菜の栽培」の単元において、「調べてみよう」「話し合ってみよう」など調査・検討・発表する活動を取り入れることで、各月の価格・出荷量と天候の比較や収穫量の地域差などについて、理解が深まるよう工夫されている。
(6) 野菜生産と経営の実践	・「野菜生産の経営改善」の単元において、生徒が調査できるような多様な統計資料を示すことで野菜生産の課題や経営改善の方策について、理解が深まるよう工夫されている。
b 農業や農業関連産業と関連付けている内容	
(1) 「野菜」とプロジェクト学習	・「野菜とプロジェクト学習」の単元において、必要な情報収集と分析のために地域や消費者のニーズを調査する必要性が示されており、産業としての野菜生産と経営の学びに取り組むことができるよう工夫されている。
(2) 野菜生産の役割と動向	・「野菜の消費」「野菜の生産と供給」の単元において、我が国の野菜の消費動向の変化と野菜の生産と供給を結び付けた内容が述べられている。例えば、消費の季節性や消費者との交流、園芸療法と農福連携などについて理解できるよう工夫されている。
(3) 野菜の特性と栽培技術	・「野菜の安全性」の単元において、安全・安心な野菜栽培についての技術や制度と関連付ける内容が配置されており、有機栽培による野菜生産、総合的病害管理技術、みどりの食料システム戦略など、安全・安心への配慮、環境に負荷をかけない農法についての栽培技術について学べるよう工夫されている。
(4) 野菜の栽培と管理・評価	・「野菜の生産と供給」「野菜の安全性」の単元において、品種の保護や安全性と関連付けた内容が述べられており、知的財産の保護や地理的表示保護制度、農業生産工程管理（GAP）などに基づく野菜の栽培と管理、保護について理解できるよう工夫されている。
(5) 野菜の生産と経営	・「加工・業務用野菜」の単元において、加工・業務用野菜の現状や特徴、生産販売と結び付けた内容が配置されており、加工業務用野菜の需要や付加価値の創出、サプライチェーンなどについて、深く理解できるよう工夫されている。
(6) 野菜生産と経営の実践	・「野菜生産の経営改善」の単元において、流通と消費者の意見を結び付けた内容が述べられており、流通業者と消費者の意見を取り入れた栽培事例から、消費者ニーズへの対応の重要性が理解できるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「野菜あれこれ」に日本文化の中に深く根差した野菜の挿話が述べられており、興味を喚起するよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	・全般にわたって見やすいユニバーサルデザインフォントが使用されている。